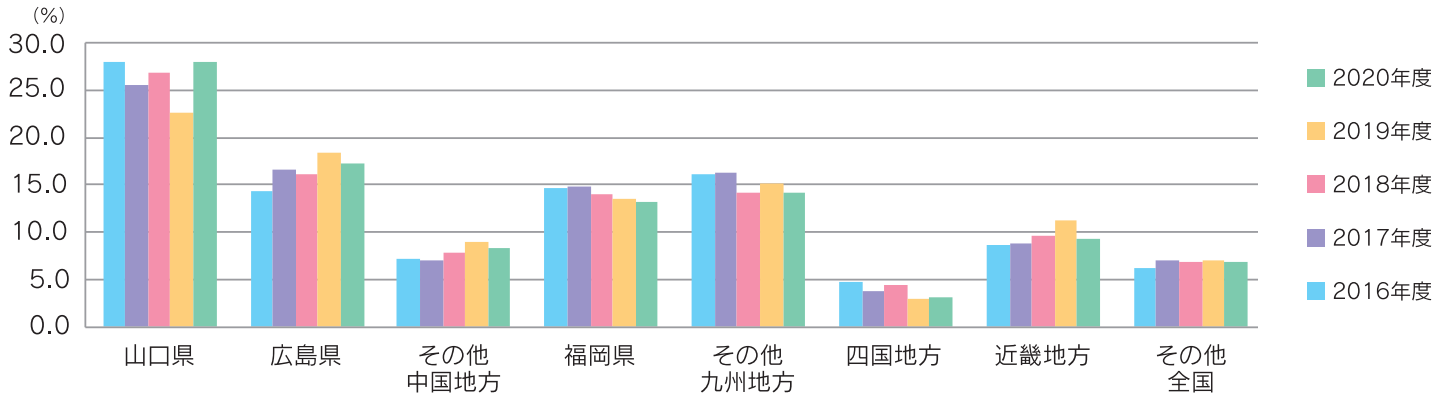


山口大学・教学マネジメント DATA DIGEST 2020

山口大学における教育と学び①

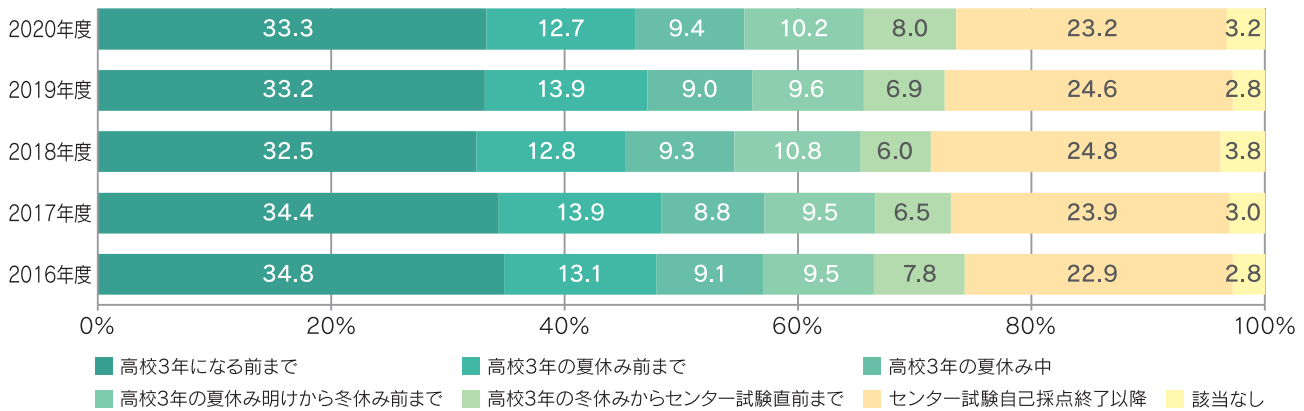
【入学生の状況や入学時の特徴】

山口大学の入学生はどこから来てるの？



山口大学を受験することをいつ決めたの？

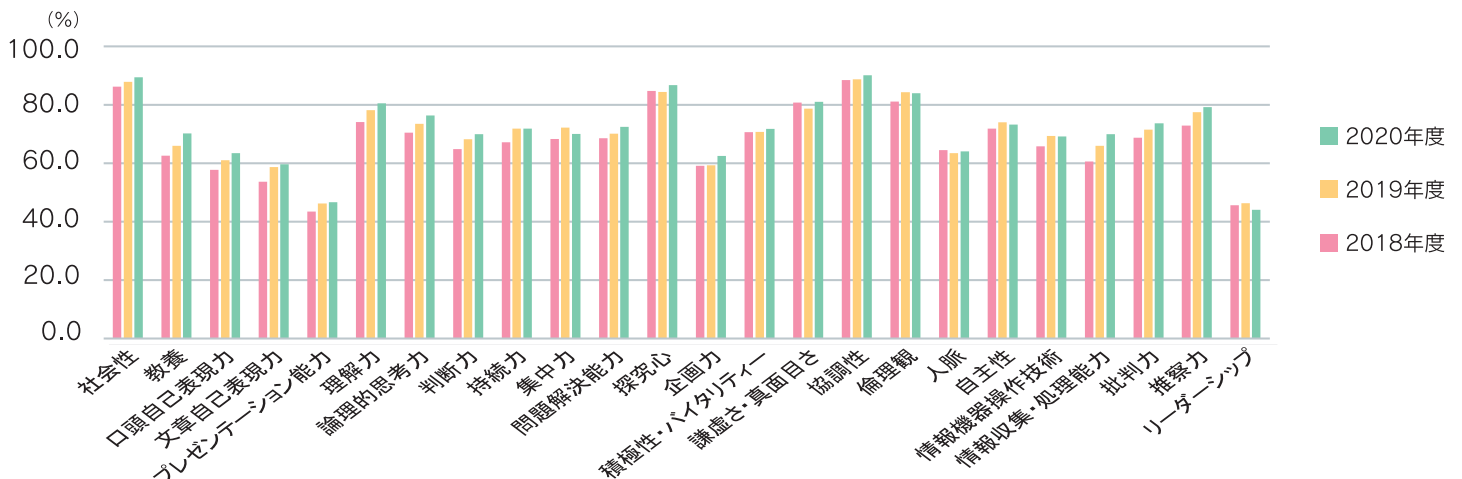
【山口大学を志望校の一つに決めた時期はいつですか】



入学時の能力・資質の特徴は？

【能力・資質に関する自己評価（現在有する能力・資質）】

能力・資質を表す24項目それぞれについて、「かなりあてはまる」「少しあてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」の4段階評価で回答を求めた。図は「かなりあてはまる」「少しあてはまる」を合算した値を示したものである。



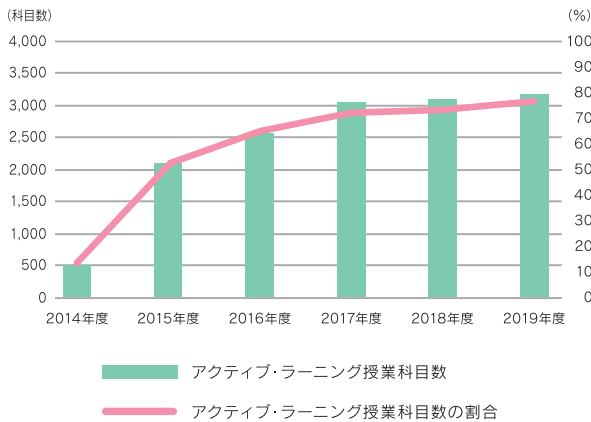
山口大学における教育と学び②

【在学時の学びと在学生の特徴】

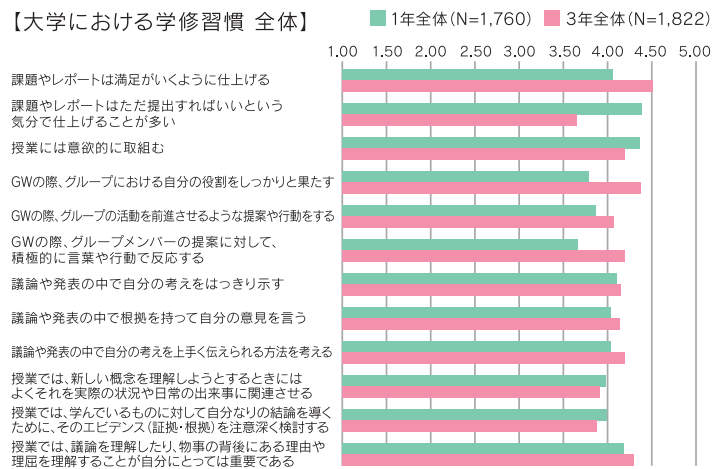
アクティブ・ラーニングによる『学びの好循環』



①アクティブ・ラーニング型授業科目数の増加



②1年次から3年次にかけての「学修習慣」の変容



汎用的能力と専門的知識・技能の育成

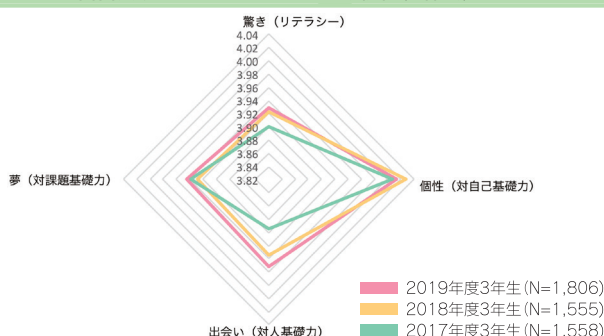
①間接評価による『山口大学生コンピテンシー』の可視化

②YU CoB CuS (Yamaguchi University Competency-Based Curricular System) によるDP (ディプロマ・ポリシー) 達成度の可視化

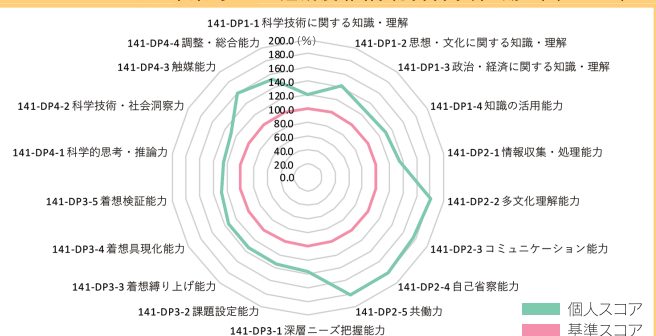
③上記の学修成果可視化に基づくアセスメントの強化

レイヤー	カテゴリー	学習目標	アセスメント手法
大学全体レベル(マクロ)		山口大学生コンピテンシー(教育理念)	学修行動・学修到達度調査 授業での振り返り
学位プログラムレベル(ミドル)		ディプロマ・ポリシー(DP)	YU CoB CuS 振り返りシートほか
授業科目レベル(ミクロ)		到達目標	学生授業評価

「山口大学生コンピテンシー」の可視化(6件法)



YU CoB CuSによる卒業時のDP達成度(国際総合科学部1期生)(N=88)



山口大学における教育と学び③

【卒業時の満足度と卒業生の特徴】

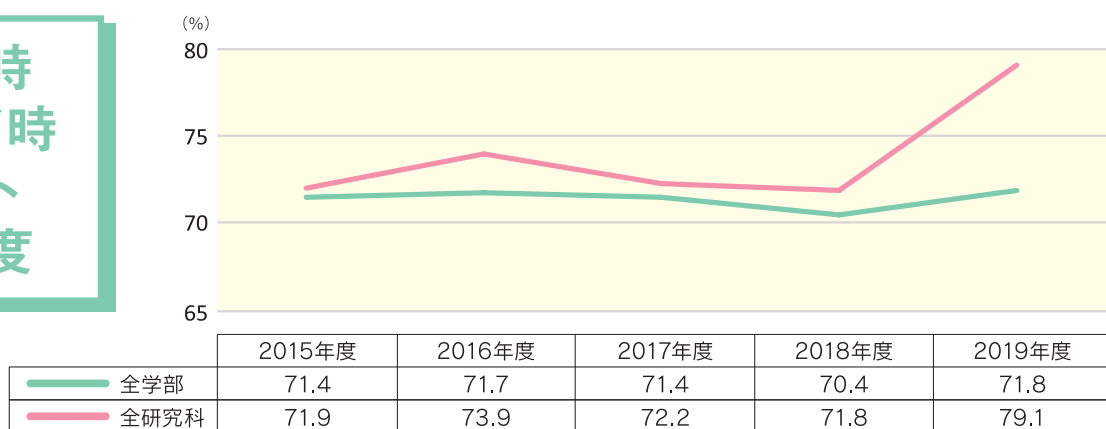
山口大学では、毎年度、学部卒業時・大学院修了時アンケートを全学部・全研究科対象に行っており、学部卒業時アンケートは約7割、大学院修了時アンケートは約6割の回答率があります。

本アンケート調査は、学部卒業生版では、項目別満足度の5指標（「①学習・生活環境」「②学生生活の支援体制」「③共通教育や学部専門教育における多人数授業」「④専門少人数教育」「⑤人間関係」）及び「⑥総合満足度」の計6つの指標で構成しています。

大学院修了生版では、項目別満足度の5指標（「①生活環境」「②学習支援・生活支援」「③授業・研修支援、環境」「④進路支援・相談体制」「⑤人間関係」）及び「⑥総合満足度」の計6つの指標で構成しています。

2019年においては、学部・研究科ともに総合満足度の結果が過去5年間で最高値となりました。

学部卒業時 大学院修了時 アンケート 総合満足度



企業人事担当者からみた山口大学卒業生の特徴・強み

山口大学卒業生の採用実績があり、かつ、山口大学での就職フェアなどに参加し、多くの山口大学生を知っている(a)山口密着型、(b)九州中国地方展開型、(c)全国展開型企業の3タイプの企業について各2社、合計6社の人事担当者にインタビュー(2019年度実施)を基に以下のとおりカテゴリー分けしました。

山口大学コンピテンシー(教育理念)の4観点から

【リテラシー】

- 学部による差もあるが、人文・理学部の論理性や思慮深さが目立つ。
- 論理性が高く、ソフトウェア開発に適した整理された表現ができる。
- 研修日報の書き方や、求められていることを理解する速さと正確さが特徴的。
- 面接で関わる限り他の中堅国公立の学生と同じように感じる。入社した学生については、口頭での説明はともかく文章にさせると非常に説得力がある。
- 要点を掴んで書類を作成し端的にまとめる能力が他大卒業生に比べ高く感じられる。

【對自己基礎力】

- あまりへこまずに、困難について自分から先輩に聞きに行くなどの前向きさがある。
- 課長をしている山大卒業生は、チームだけでなく自己管理が良くできている。

【対人基礎力】

- 人間関係の調整も、他者への説明や共同作業もスムーズにできる。人見知りの気質の子もいるが、その苦手を把握しながら営業できちんと仕事ができている。
- チーム内でも顧客とでも、相手の言うことを理解し対立を解消していく話術がある。
- とても対人基礎力が高い。インターンシップ時でも他者との交渉などで秀でている。
- 優しく気を配り、空気を壊さない能力が高い。
- 山口の土地柄らしい、人懐っこいあいさつのできる学生には対人基礎力のポテンシャルを感じさせられる。

【對自己基礎力】

- 実行力が強く、改善に努める様子が見られる。失敗を分析して壁を乗り越えている。
- 入社後にプログラミングを学んだ卒業生が素晴らしい。首都圏の大学と遜色がない。

山口大学が目指す人材像

『発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場』

山口大学のProfile

- ◆ 教育研究組織(9学部、8研究科、1研究所、2機構)
 - ◆ 3キャンパス(吉田(山口市)、常盤・小串(宇部市))
 - ◆ 学生数 8,659名(学部)、1,357名(大学院)
 - ◆ 教員数 976名(任期付教員等を含む)
 - ◆ 職員数 557名(医療系を除く)
- 【2020年5月1日現在】

- ◆ 教育理念「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」



- ◆ マスコットキャラクター“ヤマミイ”

- AL(アクティブ・ラーニング)型科目の割合 76.2%[2019年度]
- ALを行う専任教員の割合 87.3%[2019年度]
- 授業外学習時間 15.46時間(1週間あたり)[2019年度]
- 授業満足度 4.37(5件法)[2019年度]
- 退学率 1.7%[2019年度]

- 専任教員のFD参加率 毎年度80%以上
- 知財教育・データサイエンス教育の全学必修化
- 英語のプレメントテストの全学実施
- 正課外教育プログラムの先駆け(おもしろプロジェクト)

山口大学は『発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場』という教育理念のもと、何事にも【驚き】を感じ、自らの【個性】を発揮しながら、多様な人たちとの【出会い】を通して【夢】をかたちできる人材育成に取り組んでいます。

山口大学では、教育理念に基づき、学生が卒業時に身に付けておくべき汎用的能力として『山口大学生コンピテンシー』を定めています。

1年次必修科目『知の広場』では、学生個々の『山口大学生コンピテンシー』の度合を可視化したスコアを確認しながら、アセスメントを行っています。

レイヤー	カテゴリー	学習目標	アセスメント手法
大学全体レベル(マクロ)		山口大学生コンピテンシー(教育理念)	学修行動・学修到達度調査 授業での振り返り
学位プログラムレベル(ミドル)		ディプロマ・ポリシー(DP)	YU CoB CuS 振り返りシートほか
授業科目レベル(ミクロ)		到達目標	学生授業評価

「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」の意識	教養教育において育成される力	専門教育において育成される力
【驚き】:世界や社会にいつも驚きを感じ、過去・現在・未来に問いを発し続けます。	【驚き】:驚きを大切に、「自ら」が考え・判断・表現・発言する力を養います。	【チャレンジし、解決する力】:あらたな問題や困難にチャレンジし、解決する力を養います。
【個性】:他人と競争し、打ち負かすのではなく、自分を発見し、はぐくみ、世界でたったひとつの存在になります。	【個性】:個性を大切に、心身ともに豊かな人間性とく美>を発見するところをはぐくみます。	【自分を活かす力】:専門家としての知識や能力を身につけ、自分を活かす力を養います。
【出会い】:自分のうちに閉じこもらず、自分を超えてひとに出会い、出会いをはぐくみ、つながりを築きます。	【出会いと交流】:出会いと交流の中で、歴史と伝統を重んじつつ、異文化を受け入れるところを養い、地域社会と国際社会への責任感や義務感を培います。	【専門分野を超えて考え行動する力】:専門性を活かし、さらに分野を超えて、人々の幸せや社会・環境全体のあるべき姿について、考え行動する力をはぐくみます。
【夢】:過去を受け継ぎ、現実をみすえながら、夢を発見し、夢をはぐくみ、夢をかたちにします。	【夢】:夢を描き続け、自らが生涯を通じての<知の探求者>になる「礎」を築きます。	【世界にはばたいて活躍する力】:国を超えた多くの人々と出会い、世界にはばたいて活躍する力をはぐくみます。

山口大学における 教学マネジメント体制の仕組みと概要

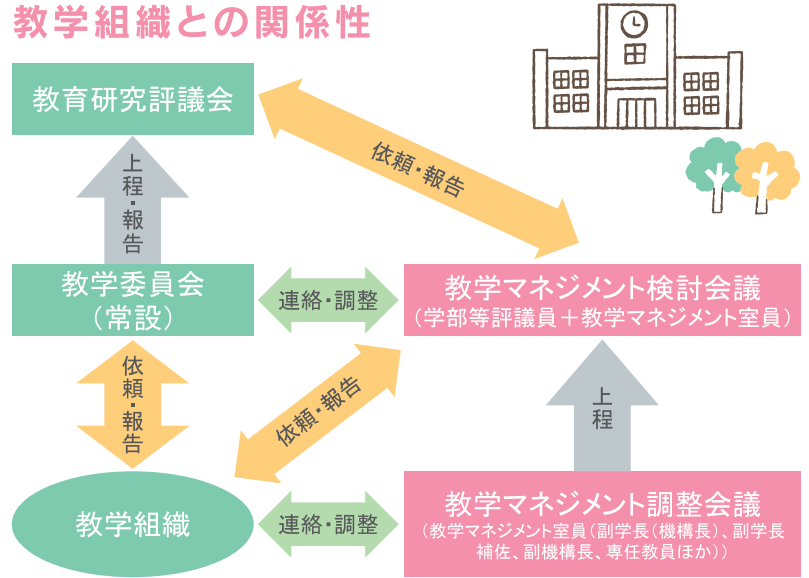
山口大学では、2020年4月から「教学マネジメント室」を設置し、学部・研究科等との教学組織と連携・協働した教学マネジメント体制を構築しています。

教学マネジメント室 役割・機能、教学組織との関係性

役割・機能

- 『教学マネジメント指針』に沿った役割・機能
⇒「大学全体」「学位プログラム」「授業科目」の三つのレベルに応じた教学マネジメント強化のための方針検討と調整・実行
- そのためのFD・SD企画と実施
(従来の大学教育センターやAP事業での取組の継承と強化)
(直近では、遠隔講義の環境充実のためのFD・SDを含む)
- そのための教学IR体制の再整備と実施
(旧体制やAP事業での取組を継承しながら、『教学マネジメント指針』を参照した指標に沿った教育成果・学修成果の把握・可視化・公表)

教学組織との関係性



学生のエンrollmentマネジメントの観点から、教育・学生支援機構の各組織（室・センター）の連携により、教育・学修に関するデータを収集・分析し、教学IRの強化を図っています。

教学IR関係

- ①入試動向等は、毎年度、**DATA BOOK**を公表。
- ②AP事業で開発した学修行動・学修到達度調査、ALポイント等は、毎年度、**アニュアルレポート**を公表。
- ③学生授業評価、教員自己評価、FD・SD活動は、毎年度、**FD報告書**を公表。



データ	収集方法 (可視化の方法)	意義・目的 (何に利用)	レベル (大学全体・ 学位・授業科目)
入試状況データ	定期把握・学内共有	入試動向把握と改善充実	大学全体
基礎的学籍情報(退学、留年、休学等)	定期把握・学内共有	定期的な学籍状況把握	大学全体
就職状況データ	定期把握・学内共有	就職動向や地元就職者の把握	大学全体
入学時調査	アンケート	入学時の動機、意欲等の把握 入試区分別の学修成果分析	大学全体
学修行動・学修到達度調査(在学時調査)	アンケート	学修態度、資質能力、 学修時間等の把握、経年比較	大学全体
学生生活実態調査	アンケート	学生生活実態把握、経年比較	大学全体
卒業時調査	アンケート	卒業時の満足度等の把握 入試区分別の学修成果分析	大学全体
卒業後調査	アンケート	教育成果把握と評価対応	大学全体
就職先企業等調査	インタビュー、アンケート	教育成果把握と評価対応	大学全体
プレセントテストスコア(英語・数学)	テスト結果集計値	クラス分け(傾向把握)	大学全体
TOEICスコア	修学支援システム	英語力指標と卒業要	大学全体
FD・SD参加者アンケート	参加者アンケート (全学委員会で公表)	FD・SDの参加者数と 満足度の把握・可視化	大学全体
DP認知度調査	学部・学科アンケート	DP認知度の把握	学位
YU CoB CuSスコア(国際総合科学部)	修学支援システム	DP達成度の把握	学位
修学指導調査	学部・学科アンケート	修学指導の把握・可視化	学位
卒業研究・卒業論文等調査	学部・学科アンケート	評価や水準の把握・可視化	学位
学生授業評価	修学支援システム	到達目標達成度、満足度等の把握	授業科目
教員授業自己評価	修学支援システム	授業改善	授業科目
成績分布共有システム	修学支援システム	成績評価の妥当性の把握 同一科目間の均等性の把握	授業科目
ALポイント	シラバス情報	AL促進と表彰	授業科目